

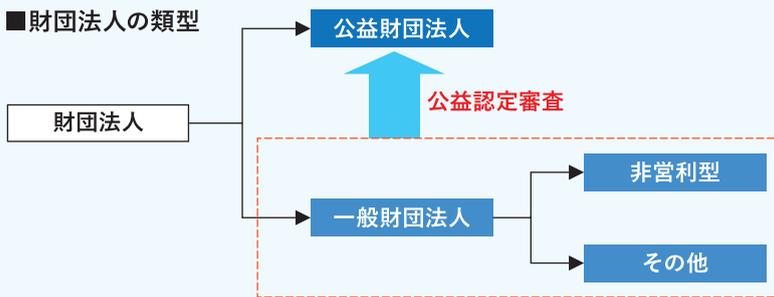
## 公益法人とはどんなものか

「公益法人」とは、法律に基づき設立された一般社団法人、一般財団法人の中で、その事業が公益に資すると認定を受けた法人を指す。認定は行政庁に申請を行い、審査を経て内閣総理大臣または都道府県知事によって行われる。

公益法人の中には、主に教育や医療・環境保護などの社会的に重要な分野での活動を行う法人が多い。また公益性が必要なため、特定の個人や団体が対象ではなく、社会全体の利益のために活動することが必要だ。

その規模についても多様で、4000億円を超えるような大きな資産額の法人もある一方で、小規模の財団も多い。実際、公益法人の中で資産額が1億円未満の法人は全体の64.1%を占めており、資産額5億円未満で見ると公益法人全体の91.5%に上っている。

### ■財団法人の種類



財団が長年にわたって奨学金を出してこられた。それで海外から多くの人が日本で学び、そして国に戻って、役所や企業でそれなりの立場で活躍されている。そうした人たちの人脈や信頼関係が、今になって会社の事業発展に少なからず寄与しているというわけなのです。

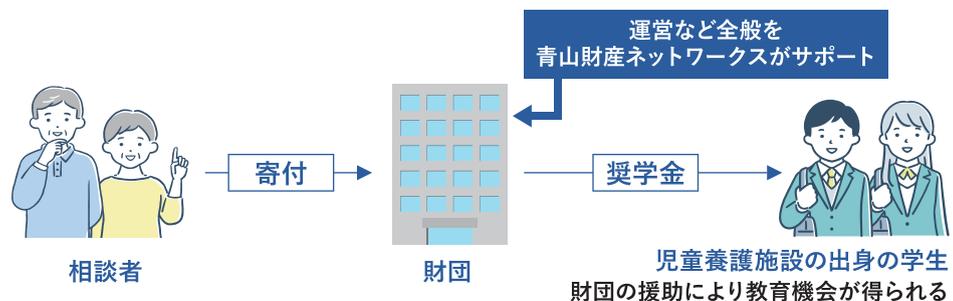
——社会貢献のためにつくった公益法人が、結果的に、家業である企業の発展にもつながっているということですね。  
**蓮見** そうなのです。受け継いだ息子さんも、この公益事業に対してすごく価値があると気付かれた。こういった声をよく聞くようになったのが、二つ目の理由です。

——公益財団の設立による社会的な意義は何でしょうか。  
**蓮見** それはまさに教育や文化支援など、未来を担う人材への支援でしょう。今の社会では例えば、母子家庭、父子家庭、そして両親が亡くなったことで経済的に苦労している学生が多い。

理由です。  
 ——つまり一つは「相続以外の財産の使い道」という視点、そして二つ目が公益事業を行うことと自体の価値ということですね。  
**蓮見** われわれとしては、ニーズがあるからこの公益法人設立サービスを始めたというよりは、公益事業に本当の価値があると考えました。多くの企業オーナーと話していると、どれだけお金をためて自分のために働いても、それだけでは満足感を得られないと。つまり、自己実現の経済だけでは本当に人を幸せにすることはできない。他者実現すなわち他者に貢献することで本当の幸せを得られるということを多くのオーナーと話しながら学んできました。だから、こういう公益事業を行うことは、オーナーにとってもプラスになるのではないかと思って、われわれはそれをお手伝いしているのです。

### ■青山財産ネットワークスが設立、運営支援する「公益財団法人しまなみ奨学財団」の例

経済的に恵まれず学習意欲があるものの満足な教育を受けられない子どもが存在する



**蓮見** それはまさに教育や文化支援など、未来を担う人材への支援でしょう。今の社会では例えば、母子家庭、父子家庭、そして両親が亡くなったことで経済的に苦労している学生が多い。